

就労系サービス利用者アンケート 調査結果

1 調査の目的

就労系サービス利用者における一般就職等の意向を調査し、次期障がい者プランに盛り込む予定の重点施策「就労支援の強化」の方向性を探るため。

2 実施概要

(1) 期間

令和8年2月2日～令和8年3月6日

(2) 対象者

就労系サービス（就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、自立訓練・生活訓練）利用者のうち、交通費助成の対象となっている者

(3) 方法

令和8年度の交通費助成の更新申請書の裏面にアンケートを掲載したほか、「ちば電子申請サービス」の更新申請フォームにアンケートを付加した。

3 回答率

配布数	回収数	回答率
207	117	56.5%

4 回答者の属性

サービス名	回収数 (人)	内訳：手帳等(人)			
		身体	療育	精神	その他
就労移行支援	28	3	1	19	5
就労継続A型	28	0	8	20	0
就労継続B型	47	4	14	29	0
自立・生活訓練	14	1	2	9	2
計	117	8 7%	25 21%	77 66%	7 6%

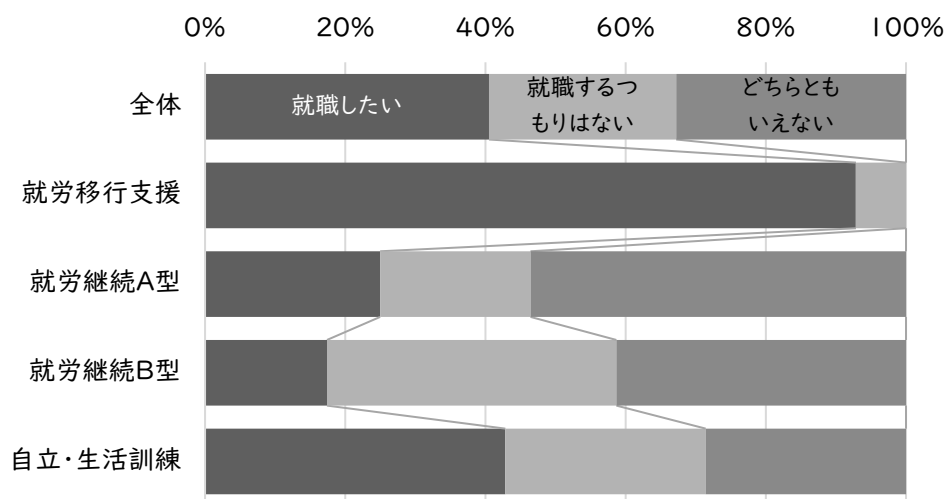
サービス名	内訳：年齢別(人)					
	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
就労移行支援	2	10	13	0	3	0
就労継続A型	0	7	4	8	6	3
就労継続B型	3	8	11	15	8	2
自立・生活訓練	1	5	5	2	1	0
計	6	30	33	25	18	5

5 調査結果

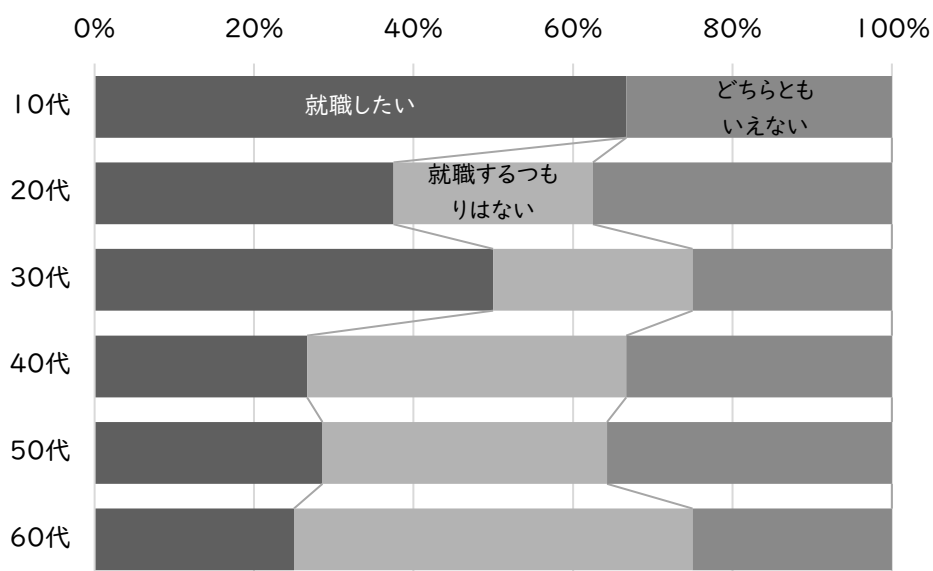
(1) 1～2年以内に一般企業に就職する意向について

	就職したい	就職するつもりはない	どちらともいえない	
就労移行支援	26	2	0	
就労継続A型	7	6	15	
就労継続B型	8	19	19	
自立・生活訓練	6	4	4	
計	47	31	38	未回答… 1

① A型・B型利用者は就職希望の割合が低い



② 40代以降は就職希望の割合が減少する

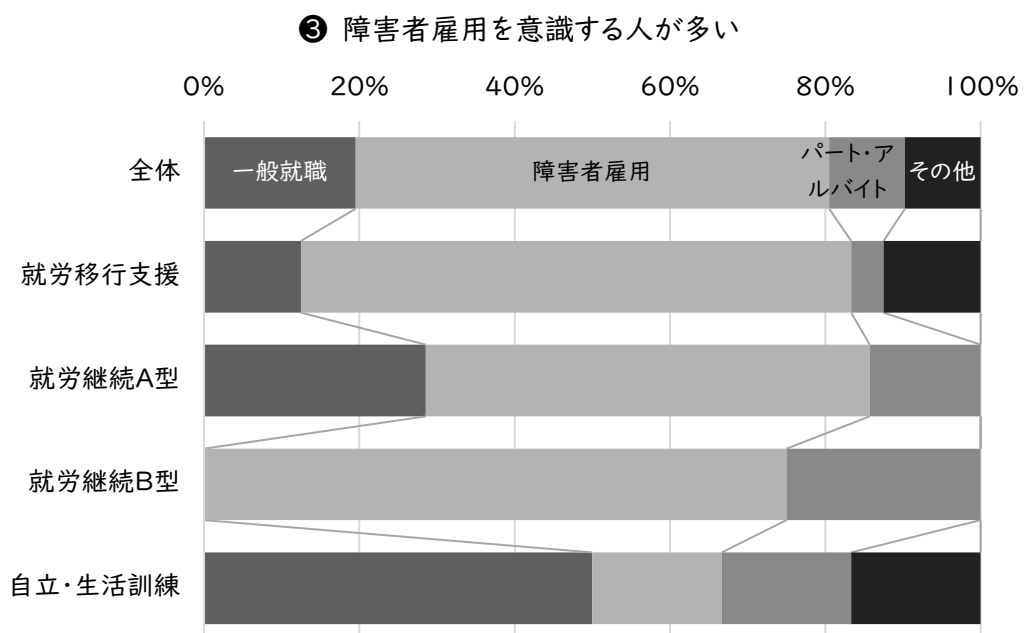


(2) 就職形態の希望（「就職したい」を選んだ場合に回答）

	一般就職	障害者雇用	パート・ アルバイト	その他	未回答
就労移行支援	3	17	1	3	3
就労継続A型	2	4	1	0	0
就労継続B型	0	3	1	0	4
自立・生活訓練	3	1	1	1	0
計	8	25	4	4	7

「その他」の内容

○自分にあった就職 絵を描いています（展示、その他）その生活が両立できる仕事をさがしています



(3) 就職するつもりがない理由（複数回答）

●B型利用者は現在の事業所に通い続けたいというニーズが強い

	現在の事業 所に通い続 けたい	面接など就 職活動が難 しい	無理して就 職する必要 はない	体調や年齢 的に難しい	その他
就労移行支援	1	0	1	1	0
就労継続A型	2	0	2	2	1
就労継続B型	14	3	4	9	5
自立・生活訓練	3	2	1	2	0
計	20	5	8	14	6

「その他」の内容

○障害者雇用で2社程の見学をしたが、指導者や仕事内容等について試行錯誤でやっていくという説明だった。決まった指導者を要望します。

○まだ自信が持てないから

○作業スピードが健常者よりかなりゆっくりだ。トイレに健常者より時間がかかる。

○2年位前に就労支援専門員さんと2～3面接(障害者雇用)でさんざんでしたので。

○元気になるまで何年もかかったので、もう少し様子をみながら慎重に行動したい

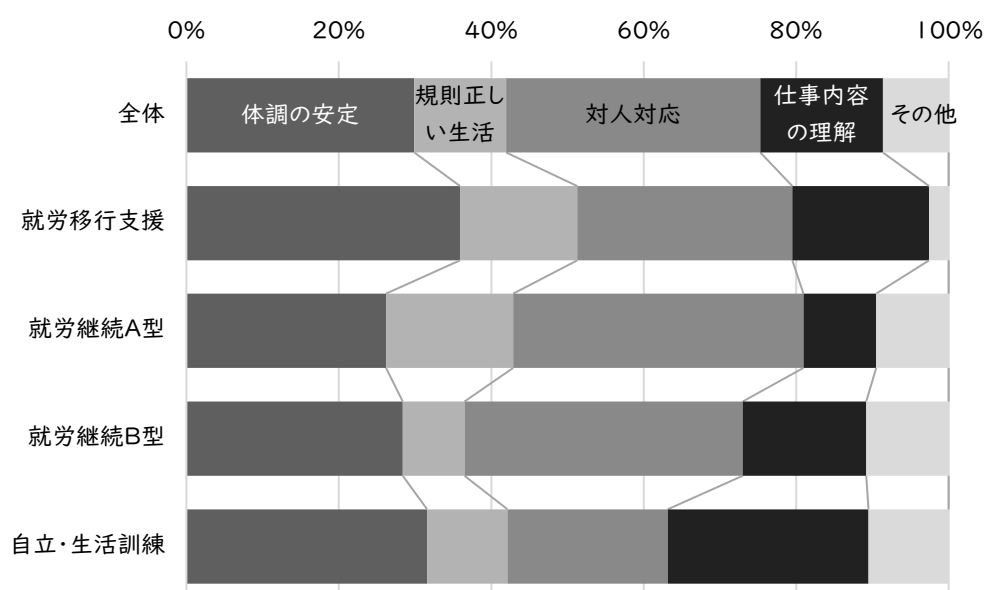
(4) 回答者自身が抱える課題について（複数回答）

	体調が安定 しないこと	規則正しく 生活するこ とが難しい	対人対応が 苦手なこと	仕事内容の 理解が難し い	その他
就労移行支援	14	6	11	7	1
就労継続A型	11	7	16	4	4
就労継続B型	21	6	27	12	8
自立・生活訓練	6	2	4	5	2
計	52	21	58	28	15

「その他」の内容

- 根性がないこと ○もの忘れ防止 ○特にない ○体力
- 完全在宅のお仕事や求人が無いこと
- 特殊な技能がないから訓練を受けたい。就労しても続かないから訓練・学ぶ所があれば
- 一般企業内におけるストレス・緊張・不安感が著しく高い
- 臨機応変な行動が弱いので、注意・ご指導を行ってもらえたら、仕事内容も向上すると思います。
- 長時間働けないこと ○長時間（～8時間）は体力的に難しい
- 一人で突っ走ってしまうこと
- 初めての所や人に慣れるのに時間がかかるかもという不安が強いところ。
- ちょっとした事かもしれないのに、深く考えすぎてしまうところ
- 聴覚過敏でイヤフォンを外すのが難しい

④体調面や対人対応に不安を抱える人が多い



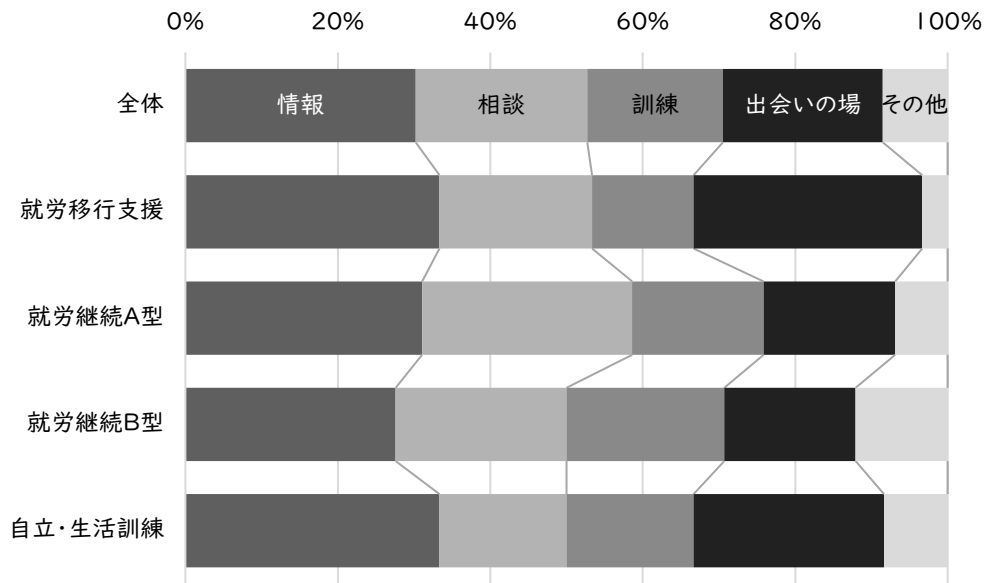
(5) 就職をしやすいするために必要だと思う支援について（複数回答）

	障害者雇用 などの情報 を増やす	相談できる 機会を増や す	就職に向け た訓練を充 実する	企業との出 会いの場を 増やす	その他
就労移行支援	10	6	4	9	1
就労継続A型	9	8	5	5	2
就労継続B型	16	13	12	10	7
自立・生活訓練	4	2	2	3	1
計	39	29	23	27	11

「その他」の内容

- 就職後もサポートがある
- 職場の方々の障がいに対する理解とバリアフリー化。休憩時間を長くしてほしい。休憩室の確保、車椅子から床において体を休めることが可能なこと。
- 就労継続支援事業所の作業内容の選択肢の充実（PC 業務や WEB 関連に特化した事業所等）。定着支援のサポート品質の充実（利用者の問題や課題に対する、アプローチ方法・支援内容の見直し・改善。）
- 今は考えられません
- 企業に勤める一般の方の理解、障害の特性を理解することが必要
- 自宅勤務など多様な働き方を増やす
- 「面接に一人で来れないのか」と言われた。同行してもらえないと不安でしかない。
- 実習をさせてもらう。企業の方に、施設での活動姿を見てもらう。
- 相談できる場所があるということをもっと発信する。私が 10 代、20 代のとき、そしていままでそんな相談ができる場所を知りませんでした。

⑤ 就職のために情報が重要だと思う人が多い



⑥ 一般企業へ就職希望の人は出会いの場の割合が大きい

